

脈波計

MAX PULSE マックス・パルス

血管が心臓の収縮に大動脈起始部に押し出されたときに発生した血管内の圧力の変化が抹消方向に伝わっていく時の波動を圧、光電、ストレングージ、インピーダンスなどの方式を用いて波形として抽出する装置です。



特徴

- この1台で、自律神経のバランスと抹消循環状態の確認ができます。
- USBケーブルで、パソコンにつなぐだけの簡単設置。
- コンパクト設計で、持ち運びも簡単
- 短時間で計測。(3分)
- 誰でも簡単操作

自律神経のバランス
をチェックして、
心血管疾患リスクを
防ごう！



イメージ: シーソー

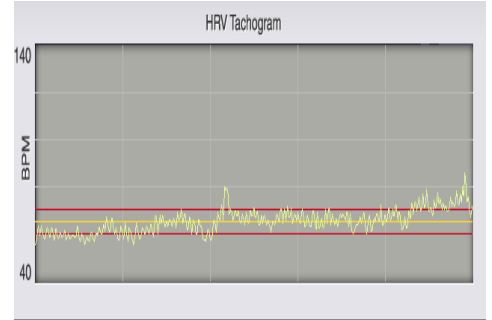
交感神経は活動的なときに活躍し、副交感神経は体を緊張から解きほぐし、休息させるように働く神経です。

仕様		
製品名	Max Pulse/マックス・パルス	
構成	本体、PPGプローブ、USB cable、電源コード、データ管理ソフト	
機能	心拍間異変分析(HRV)による自律神経バランス測定 抹消血液循環分析(APG)による血管老化度測定	
表示内容	脈波の波形(時間経過波形表示)、血管状態、心拍数、自律神経、 ストレス状態	
サイズ	幅150mm x 奥行 120mm x 高さ35mm	
重量	約 650g	
電源	AC100-240VAC/50-60Hz	
ソフトウェア	CD-ROM (Japanese/English/Korean)	
パソコン環境	Windows XP/ Vista / Windows 7	
PPGプローブ	心拍数測定範囲	30BPM~300BPM
	測定精度	±2%
	波形出力時間	2秒
	平均beats	8beats
インターフェース	USB	
設置環境	測定時	10-40℃
	保管時	-20-60℃

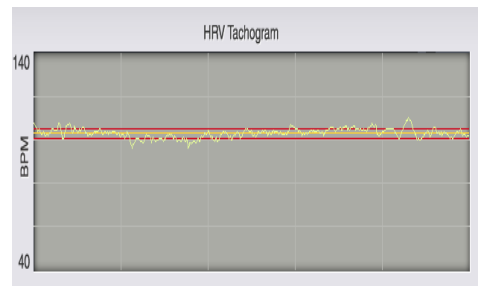
《ストレスの多い現代人の健康管理に多様なマーケットでご利用いただけます》

- ◆医療機関において
 - うつ病
 - 不安神経症
 - パニック障害
 - 頭痛や肩こりのひどい方
 - 心臓血管疾患の早期発見に
- ◆一般的な健康状態のチェック
 - ストレスレベル
 - 自律神経活動状態の確認
 - 血液循環分析
- ◆栄養補助食品の服用
 - 健康補助食品の使用前後の比較
- ◆その他施設での活用
 - 薬局
 - 公共機関
 - 一般企業・工場
 - 予防医療施設
 - 運動関連施設

健康な状態-変異の激しい波形



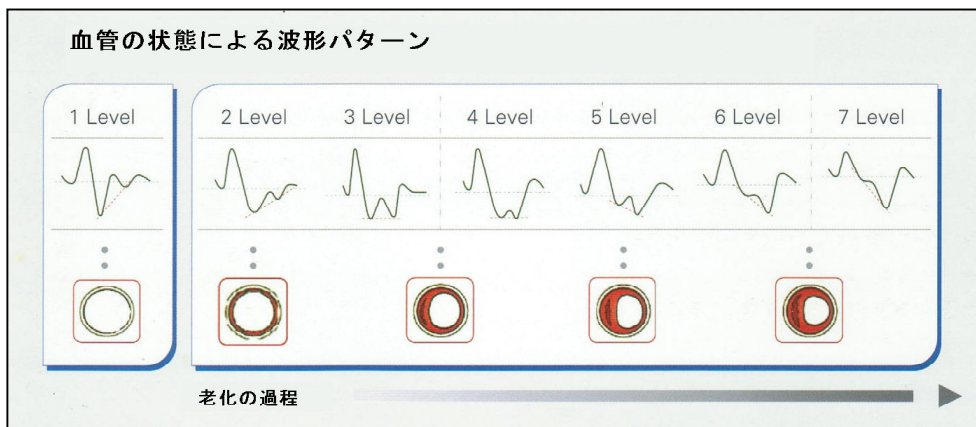
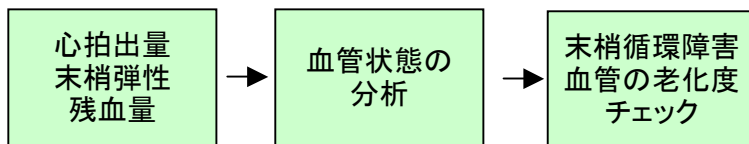
ストレス状態-複雑性の少ない波形



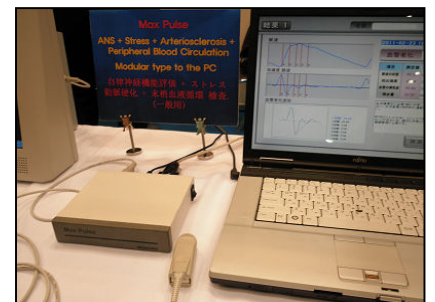
《測定方法》

I. 心拍間異変分析 (HRV) による自律神経バランス測定
 時間による心拍の周期的な変化を、心拍の変度 (HRV) とい
 い、
 自律神経系の反応が敏感であるほど、心拍の変異は増加し
 ます。反応が鈍ると、心拍動の変化や複雑性が少なく、常
 に変化する環境に対しての体内適応能力の減少した状態にな
 ります。
 心拍の変異を時間領域的、周波数領域的に解析し、
 自律神経のバランスを測定。ストレス度合いをチェックします。

II. 抹消血液循環分析 (APG) による血管老化度測定



専用ソフトをインストール
 パソコンにつなぐだけで
 簡単に計測ができます



一般医療機器 (特定保守管理医療機器)

一般名称: 脈波計

製品名: Max Pulse (マックス・パルス)

届出番号: 13B2X10157000014

外国製造業者: Medicore Co., Ltd.

製造販売業者:

オガワ精機株式会社 〒169-0072 新宿区大久保2丁目2-9 22山京ビル TEL3200-0234 FAX3200-0373